

平成 27 年度

事業計画書

平成27年4月 1日から
平成28年3月31日まで

公益財団法人 アジア研究協会

平成27年度事業計画書

はじめに

アジアの近況

先進国経済が低迷する中で、世界の発展成長センターとしてのアジア諸国が注目されている。また、アジアは日本企業の主要な海外進出先であるが、最近の中国状況により東南アジア諸国の重要性が高まりつつある。

このような状況のもとにアジア地域の総合的調査研究に関する助成事業もアジア諸国への社会貢献に寄与することを目的として積極的な取り組みが求められる。

事業ごとの平成27年度計画は次のとおりである。

1. 助成事業（公1-1）

アジア諸国との相互理解の推進に寄与することを目的として、日本におけるアジア地域の調査研究、アジア諸国に対するボランティア活動及びアジアの人々との交流活動に関連する新規助成事業の可能性について検討する。

2. 人材育成及び国際研究集会補助事業（公1-2）

（1）アジア研究協会奨学生派遣事業

400,000 円

若手研究者研究奨励金の交付（200,000 円×2名）

アジア諸国の地域研究事業の一環として、アジア地域研究を専攻する大学院生に海外調査研究を行うための奨学金を助成する。3月にホームページに事業目的及び募集要項を掲載し、応募期間終了後の4月に選考委員会を開催、書類選考のうえ2名を決定し、5月に奨学金を交付する。また、研究終了後に海外調査研究報告書の提出を受ける。

（2）国際研究集会補助事業

600,000 円

国際研究集会に対する助成金（300,000 円×2件）

アジアの学者等との交流をはかり、研究発表や情報交換を行う国際研究集会に、開催経費の一部を助成する。3月にホームページに事業目的及び募集要項を掲載し、応募期間終了後の4月に選考委員会を開催、書類選考のうえ2件を決定して、5月に助成金を交付。また、会議終了後に会議成果内容書と実績報告書の提出を受ける。

3. 交流事業（公1-3）

API(Asian Public Intellectuals)フェローシップ事業の支援 5,109,000 円

アジア地域の政治、経済、社会、文化の共通課題を解決するため、アジアの知的指導者（パブリック・インテレクチャル）に、東南アジア近隣における研究・交流の機会を与えることを目的に設立された「日本財団アジア・フェローシップ（API フェローシップ）事業」の日本における事業を支援している。

API フェローシップ事業内容はホームページに掲載し、前年度に選出されたフェローの活動を支援する。本事業は平成27年が最終年度となり、平成27年4月には京都大学東南アジア研究所にて日本フェロー向けの国内ワークショップを開催予定。また、最終年度のフェロー活動報告書の完成まで提出が滞っているフェローには督促の連絡を行ない、API 出版物の配布は最終号まで行なう。

4. 学術図書刊行助成事業（公1-4）

「東南アジア研究」第53巻1号及び2号各90部の印刷代及び版権料の助成 114,000 円

京都大学東南アジア研究所において、東南アジア諸国に対する最新の研究業績を掲載している「東南アジア研究」の出版経費の一部を助成。平成27年度は第53巻1号を7月に、第53巻2号を平成28年1月に刊行予定。）